

## 路地百選推薦書

推薦者氏名: roji-ren niigata

推薦する路地(のまち)の名称	新潟町の小路 < 古町通り界限 >
所在地	新潟市中央区 古町通 1 ~ 13 番町

**【推薦する理由(路地のよいところ)】**

日本海へとそそぐ信濃川の河口に栄えた湊町、新潟町に数多く残る小路(こうじ)は明暦時代(1655~)以降の町並をたどる道筋でもあります。

新潟の町は地域ごとに職業の場所を決めて計画的につくられました。

旅籠や料亭が軒を連ねた古町通り界限には、多くの人々が訪れ暖かいもてなしを受けました。今に残る古町花柳界のエリアです。

古町の「通り」に直交する様、設けられた新潟の「小路」。それぞれに歴史的な名前が付けられておりますが、そこに一歩足を踏み入ると、趣のある意匠を凝らした建物の風景や三味線の音が聞こえてくる路地、芸妓さん達が歩く姿など、みなとまちの歴史や、もてなしの文化を伝える粋な路地空間が広がっています。

<http://blogs.yahoo.co.jp/hiyoriyama5/51760425.html>

**【写真添付】**



路地	面積	約 ha	路地の延長	約 m
のまちの成り立ち、まちの概要	のまちの成り立ち、まちの概要	<p>江戸時代のはじめ、信濃川河口の湊町・新潟町は現在の位置より海岸寄りの砂丘の上にあります。しかし阿賀野川と信濃川が合流して湊が浅くなった為、川に近い場所へ町を移転する事となりました。明暦元(1655)年、信濃川の流れに沿った形で計画的につくられ完成した町が現在の新潟町です。</p> <p>川と海から運ばれてきた荷物を運搬するため、信濃川の流れに沿うように「堀」と「通り」がつくれ、信濃川に向かって「堀」と「通り」に直交するように数多くの「小路(こうじ)」が設けられました。その後、堀は埋め立てられ、昭和39年までに全て道路にかわりましたが、今に残る町並や小路の風景は、みなとまち新潟の歴史や文化を、確かに伝え続けています。</p>		

路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。